

# 令和4年度地域運動部活動推進事業 休日の段階的な地域移行に関する実践研究 成果報告書（概要）

## 大分県

### （地域における現状・課題）

- ・県内の部活動数は減少傾向。
- ・合同チームによる大会参加が増加傾向。
- ・人数が少ない市町村が単独チームを組めず、十分なスポーツ活動の実施ができない。
- ・部活動指導員は106人配置。（市町村立中学校文化部含）

### （地域移行の推進に向けた体制整備の取組概要）

#### 【大分市】

運営主体：七瀬の里Nクラブ      責任主体：七瀬の里Nクラブ／大分市教育委員会/大分県教育委員会  
 活動場所：野津原中学校      活動種目：男子バスケットボール 女子バレーボール 男女テニス 男女バドミントン  
 指導者：七瀬の里Nクラブ職員      会費等：0円  
 移動手段：徒歩      保険：生徒一人800円、指導者一人1850円（補助金）

#### 【豊後大野市】

運営主体：朝地フレンドクラブ / 朝地小中学校      責任主体：朝地フレンドクラブ / 朝地小中学校  
 活動場所：朝地小中学校、朝地武道場      活動種目：野球、バレー、剣道、卓球  
 指導者：地域指導者、兼職兼業教職員      会費等：なし（補助金）  
 移動手段：徒歩、自転車      保険：生徒一人800円、指導者一人1850円（補助金）

### （実践研究の成果）

- ・持続可能な部活動のスタイル確立
  - ・子どものスポーツ環境の充実
  - ・教職員の負担軽減
  - ・その他
- 調査研究校2校の全ての運動部活動を総合型スポーツクラブへ移行することができた。（100%）  
 ○野津原中学校において生徒にアンケートをとり、希望に応じた部活動を設置し、部活動の精選を行った。（3部活動→1部活動）  
 ○生徒は専門的な指導を受けられることを肯定的に捉えている  
 ○アンケート結果によると65%の教職員が「負担が減った」と答え、35%は「変わらない」という結果であったことから教職員の負担軽減につながった。  
 変わらない理由としては、兼職兼業の先生が3名いることや他の業務の改革の必要性などが考えられる。  
 ▲一部の部活動についてはクラブ指導者が平日につくことが出来なかったが、概ね教職員がスポーツ活動に携わらない環境の構築ができた。  
 ・教職員は時間的な負担だけではなく、競技経験がない種目の指導による心理的負担の軽減にもつながっている。  
 ・僅かではあるが、生徒の中には、部活動の地域移行について否定的に捉えている人もいる。

### （運営体制図）

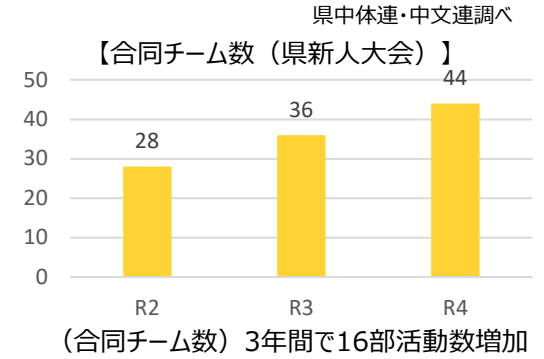
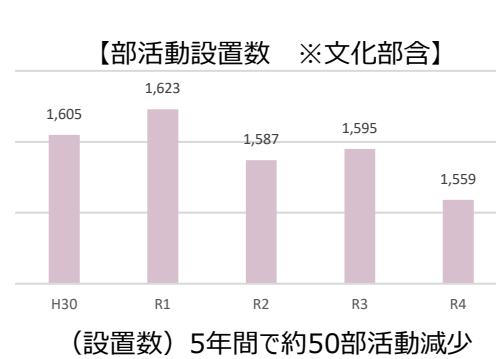
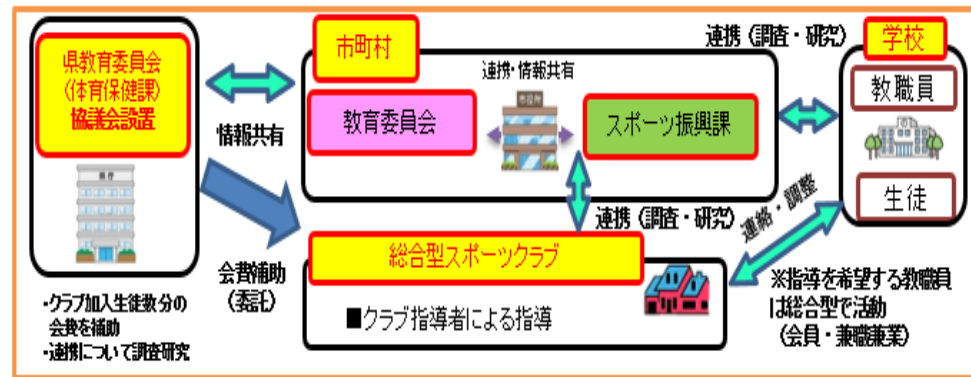
#### 【大分県の取組】

**県教育委員会**

- ・大分県運動部活動検討委員会の開催
- ・教育庁内PT実施
- ・市町村の進捗状況管理
- ・指導者講習会の実施

- ・大分県運動部活動検討委員会の開催  
 メンバー：学識経験者、市町村教育委員会代表、大分県中学校長会代表、大分県立学校長協会代表、中学校体育連盟代表、高等学校体育連盟代表、大分県総合型地域スポーツクラブ代表、大分県スポーツ少年団代表、大分県PTA連合会代表、大分県スポーツ協会代表、大分県教育委員会代表  
 内容：大分県の学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方等に関する方針について
- ・学校部活動改革に係るプロジェクト会議（教育庁内PT）の開催  
 メンバー：教育庁内各課代表  
 内容：大分県の部活動地域移行における課題の解決に向けて  
 大分県の学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方等に関する方針について
- ・市町村部活動の地域移行に関する担当者会議の開催
- ・市町村訪問（学校部活動担当課・スポーツ主管課）

#### 【実践研究体制図】



# 令和4年度地域運動部活動推進事業 休日の段階的な地域移行に関する実践研究 成果報告書（概要）

## 大分市

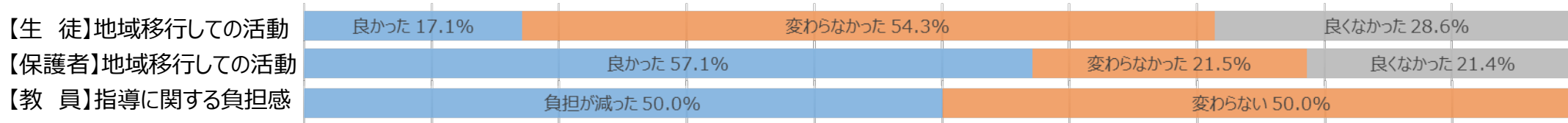
### （地域における現状・課題）

- ・ 生徒数減少による既存部活動の休廃部等により、生徒のニーズに応えられない
- ・ 部活動指導における教職員の長時間勤務や経験のない競技の指導による心理的負担
- ・ 専門的な指導ができる教職員が不足

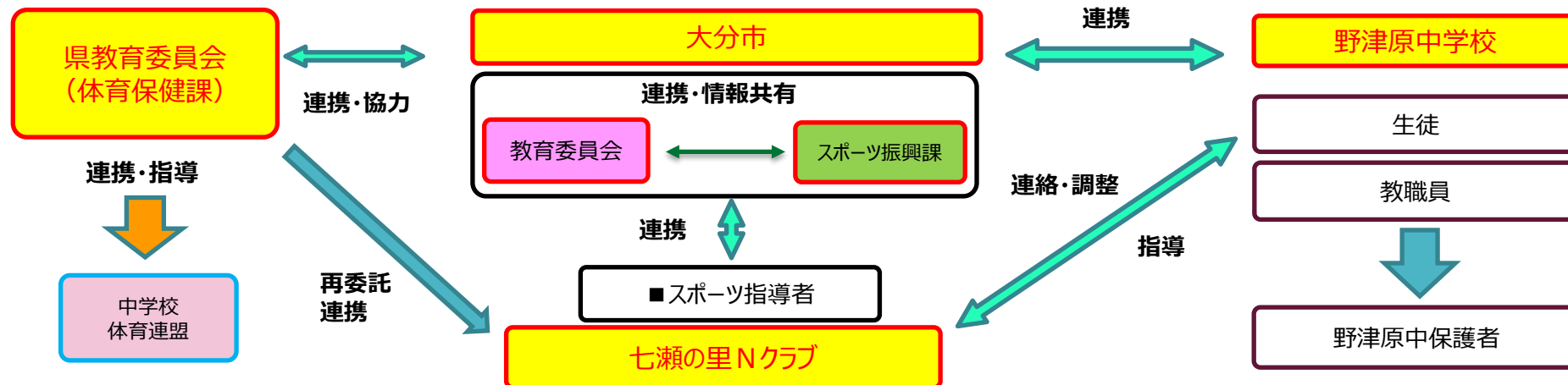
### （地域移行の推進に向けた体制整備の取組概要）

運営主体：七瀬の里Nクラブ      責任主体：七瀬の里Nクラブ／大分市教育委員会/大分県教育委員会  
 活動場所：野津原中学校      活動種目：男子バスケットボール 女子バレーボール 男女テニス 男女バドミントン  
 指導者：七瀬の里Nクラブ職員      会費等：0円  
 移動手段：徒歩      保険：スポーツ安全保険に加入

### （実践研究の成果）



### （運営体制図）



# 令和4年度地域運動部活動推進事業 休日の段階的な地域移行に関する実践研究 成果報告書（概要）

## 豊後大野市

### （地域における現状・課題）

- ・学校部活動においては、生徒の減少から、チームスポーツの合同部活動が必須になり、拡大している。また、剣道や卓球など個人スポーツにおける団体は、難しくなっている部活動が多い。
- ・受け皿確保について、指導者の確保など、予算の確保が課題。研究地域である朝地フレンドクラブにおいても、その問題があきらかになっていて、補助金で部分的に移行ができている状況である。
- ・受け皿確保について、指導者の確保など、予算の確保が課題。研究地域である朝地フレンドクラブにおいても、その問題があきらかになっていて、補助金で部分的に移行ができている状況である。

### （地域移行の推進に向けた体制整備の取組概要）

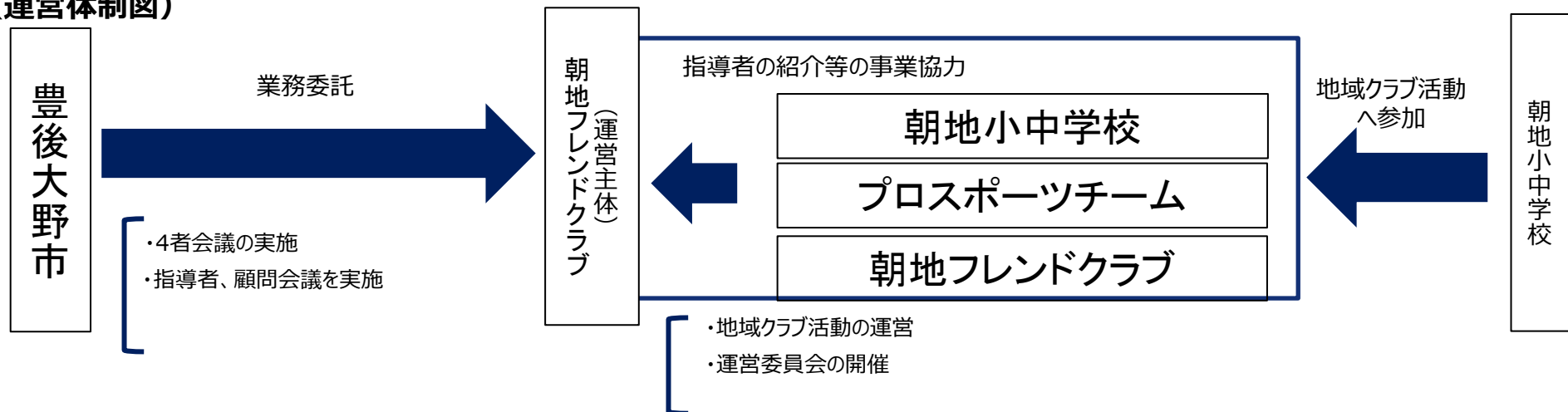
運営主体：朝地フレンドクラブ / 朝地小中学校  
活動場所：朝地小中学校、朝地武道場  
指導者：地域指導者、兼職兼業教職員  
移動手段：徒歩、自転車

責任主体：朝地フレンドクラブ / 朝地小中学校  
活動種目：野球、バレー、剣道、卓球  
会費等：なし（補助金）  
保険：生徒一人800円、指導者一人1850円（補助金）

### （実践研究の成果）

- ・生徒にとっては、「専門的な指導が、継続して受けられる」ことに対して、肯定的なとらえをしている。
- ・教職員にとっては、「仕事の時間がうまれる」ことが成果である。ほぼ毎日部活動にたずさわらなければならないところ、週に1～2日でも部活動の負担が減ることは、他の仕事の充実、自分の時官の充実に繋がる。また、専門的な技術指導ができないという精神的なストレスからも解放されるメリットが明らかになっている。80%の教職員が肯定的な回答をしている。

### （運営体制図）



# 令和4年度地域運動部活動推進事業 休日の段階的な地域移行に関する実践研究 成果報告書（概要）

## 大分市

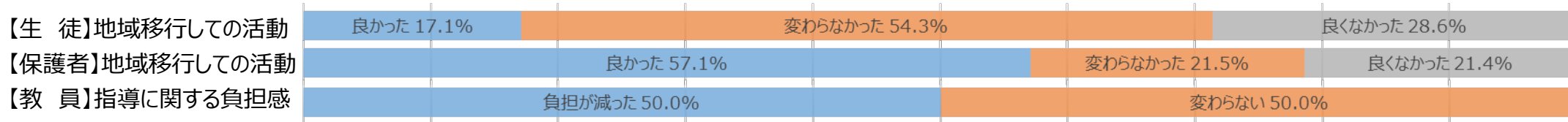
### （地域における現状・課題）

- ・ 生徒数減少による既存部活動の休廃部等により、生徒のニーズに応えられない
- ・ 部活動指導における教職員の長時間勤務や経験のない競技の指導による心理的負担
- ・ 専門的な指導ができる教職員が不足

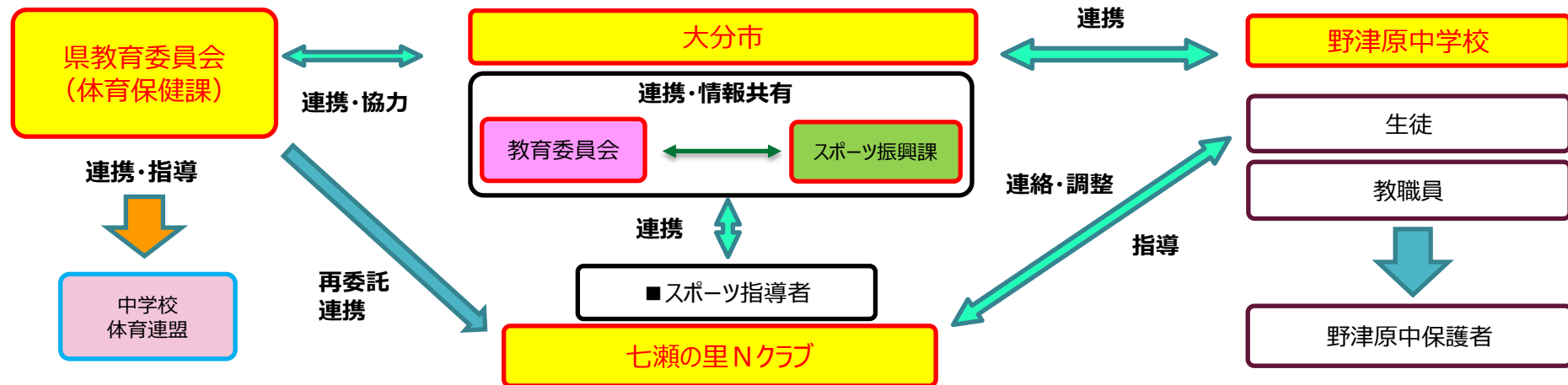
### （地域移行の推進に向けた体制整備の取組概要）

運営主体：七瀬の里Nクラブ      責任主体：七瀬の里Nクラブ／大分市教育委員会/大分県教育委員会  
 活動場所：野津原中学校      活動種目：男子バスケットボール 女子バレーボール 男女テニス 男女バドミントン  
 指導者：七瀬の里Nクラブ職員      会費等：0円  
 移動手段：徒歩      保険：スポーツ安全保険に加入

### （実践研究の成果）



### （運営体制図）



# 令和4年度地域運動部活動推進事業 休日の段階的な地域移行に関する実践研究 成果報告書（概要）

## 豊後大野市

### （地域における現状・課題）

- ・学校部活動においては、生徒の減少から、チームスポーツの合同部活動が必須になり、拡大している。また、剣道や卓球など個人スポーツにおける団体は、難しくなっている部活動が多い。
- ・受け皿確保について、指導者の確保など、予算の確保が課題。研究地域である朝地フレンドクラブにおいても、その問題があきらかになっていて、補助金で部分的に移行ができている状況である。
- ・受け皿確保について、指導者の確保など、予算の確保が課題。研究地域である朝地フレンドクラブにおいても、その問題があきらかになっていて、補助金で部分的に移行ができている状況である。

### （地域移行の推進に向けた体制整備の取組概要）

運営主体：朝地フレンドクラブ / 朝地小中学校  
活動場所：朝地小中学校、朝地武道場  
指導者：地域指導者、兼職兼業教職員  
移動手段：徒歩、自転車

責任主体：朝地フレンドクラブ / 朝地小中学校  
活動種目：野球、バレー、剣道、卓球  
会費等：なし（補助金）  
保険：生徒一人800円、指導者一人1850円（補助金）

### （実践研究の成果）

- ・生徒にとっては、「専門的な指導が、継続して受けられる」ことに対して、肯定的なとらえをしている。
- ・教職員にとっては、「仕事の時間がうまれる」ことが成果である。ほぼ毎日部活動にたずさわらなければならないところ、週に1～2日でも部活動の負担が減ることは、他の仕事の充実、自分の時官の充実に繋がる。また、専門的な技術指導ができないという精神的なストレスからも解放されるメリットが明らかになっている。80%の教職員が肯定的な回答をしている。

### （運営体制図）

